

公開シンポジウム

箱根、丹沢、富士山、伊豆半島における ニホンジカ対策の現状

開催日時：平成 28 年 2 月 13 日（土）
13:00 ～ 16:20

会場：神奈川県立生命の星・地球博物館内
SEISAミュージアムシアター

どなたでもご参加いただけます！

参加費：無料 定員：300 名

近年、全国でニホンジカが増え、森林被害や農林業被害が深刻になっています。箱根では約 100 年の間、シカが確認されていませんでしたが、1990 年代に入って目撃が相次いでいます。

本シンポジウムでは、全国のシカの分布についてご紹介すると共に、箱根に隣接する丹沢、富士山、伊豆半島のシカの現状について情報を共有し、広域的な対策の必要性について話し合います。また、箱根地域の対策のあり方について、参加者の皆様からのご意見を交えて討論を行います。

箱根のシカの現状と将来について
一緒に考えてみませんか？

主催：環境省箱根自然環境事務所
神奈川県立生命の星・地球博物館

シンポジウム シカ問題の現状

「全国のシカの現状と対策」..... 鳥獣保護管理プランナー 羽澄俊裕 氏

「丹沢山地のシカの現状と対策」.... 神奈川県自然環境保全センター 山根正伸 氏

「富士山南麓と伊豆半島地域のシカの現状と対策」

.... 静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 大橋正孝 氏

「箱根地域のシカの現状と対策」... 神奈川県立生命の星・地球博物館 勝山輝男 氏

総合討論 ① 「箱根、丹沢、富士山、伊豆半島における広域連携のあり方」

② 「近隣地域の経験を踏まえた箱根におけるシカ対策のあり方」

演者紹介

勝山輝男 氏

神奈川県生まれ。神奈川県立生命の星・地球博物館学芸部長。専門は植物分類学。30年にわたって神奈川県の植物相調査を実施、「神奈川県植物誌 1988」や「神奈川県植物誌 2001」や「丹沢の自然再生」などにかかわり、2回の丹沢大山総合調査に参加した。近年はボランティアとして箱根地域の植生を精力的に調べている。

羽澄俊裕 氏

野生動物保護管理事務所の創設者で昨年4月まで代表を務めた。個人ではなく社会が取り組む自然保護の形として野生動物マネジメントの仕組みづくりに取り組んでいる。現在は講演会などで全国を飛び回っている。著書は「動物のいのちを考える」（分担執筆、朔北社）

大橋正孝 氏

1970年静岡県生まれ。静岡県の機関としては唯一、野生動物対策の研究に取り組んでいる森林・林業研究センターの上席研究員。2011年に個体数が急増し被害が深刻化するニホンジカについてプロジェクトチームを立ち上げ、効率的な捕獲技術やだれでも簡単、安全に扱えるわな具の開発などに取り組む。

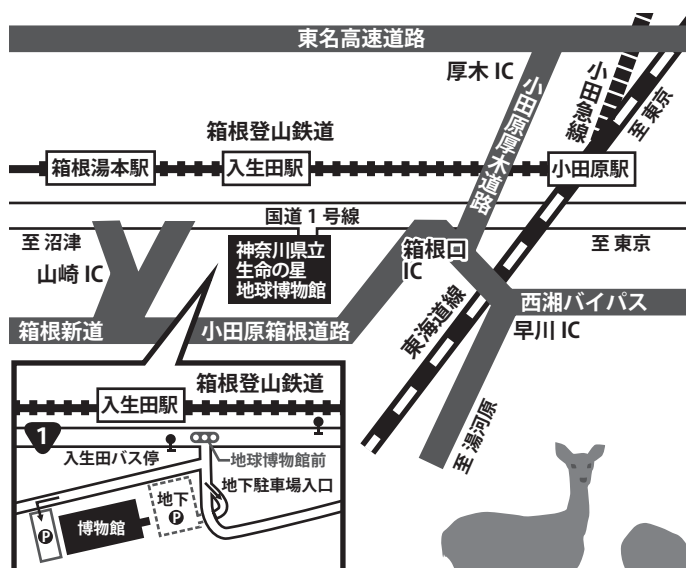
山根正伸 氏

1958年生まれ。農学博士。自然環境保全センターで丹沢の自然再生や野生動物保護管理の調査研究に取り組み、現在は研究企画部長兼自然保護公園部長を務める。著書は「丹沢の自然再生」（編著、日本林業調査会）、「自然環境解析のためのリモートセンシング・GISハンドブック」（分担執筆、古今書院）など。



会場アクセス

神奈川県立生命の星・地球博物館
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499
電話：0465-21-1515



■電車で 箱根登山鉄道「入生田」駅から徒歩3分

< 東京から >
新幹線(約40分)→小田原駅 箱根登山電車(約10分)→入生田駅

< 横浜から >
JR東海道本線(約1時間)→小田原駅 箱根登山電車(約10分)→入生田駅

■お車で 駐車場無料(185台) 入場9時～16時

- ・国道1号線から「地球博物館前」交差点まがる(歩道橋に表示あり)
- ・西湘バイパス・小田原厚木道路から→箱根口ICで国道1号線へ(博物館まで約600m)
- ・箱根新道で箱根方面から→山崎ICで国道1号線へ(博物館まで約700m)

協力：環境省、神奈川県、静岡県、
神奈川県立生命の星・地球博物館、
株式会社野生動物保護管理事務所

問合せ先：環境省箱根自然環境事務所
〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 164
TEL 0460-84-8727